



2026年2月12日

各 位

会社名 CRAVIA 株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原 宏樹
(コード番号 6573 グロース)
問合せ先 取締役 CFO 野口 敦司
(TEL 03-6435-7130 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年12月19日に公表しておりました2025年12月期（2025年1月1日から2025年12月31日）の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年12月期通期連結業績予想数値の修正（2025年1月1日～2025年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 671	百万円 △219	百万円 △228	百万円 △179	円 銭 △5.31
今回修正予想（B）	546	△282	△301	△258	△8.16
増減額（B-A）	△125	△63	△73	△79	
増減率（%）	△18.6	—	—	—	
（ご参考）前期実績 (2024年12月期)	455	△301	△320	△337	△13.98

2. 業績予想修正の理由

業績予想修正のうち、売上高は125百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、まず小売業では仕入商品の入荷遅延や、在庫リスク見直しに伴う仕入数量の絞り込み等により、売上が当初見込みより77百万円減少しました。また連結子会社である株式会社ミライルの新商品であるカラーコンタクトレンズについて、SNS・ECを中心とした初動プロモーション施策に遅れが生じたことで、認知形成および購買喚起における本格展開が当初想定より後ろ倒しとなり、初期販売数量が想定を下回ったことで、売上が当初見込みより48百万円減少しました。

営業利益は 63 百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、まずアンバサダー事業において既存顧客の解約と新規案件獲得の停滞により、アンバサダープログラムの導入件数が当初予想である 15 件を 2 件下回る 13 件に留まったことに加え、売上原価の増加が生じたことにより 29 百万円減少しました。また上記の小売業における売上減の影響により 5 百万円、同じくカラーコンタクトレンズ新商品の売上減の影響により 29 百万円がそれぞれ当初見込みより減少しました。

経常利益は 73 百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、上記の営業利益の減少 63 百万円に加え、2026 年 1 月 28 日付「営業外費用（暗号資産評価損）の計上に関するお知らせ」にて公表した通り、暗号資産評価損として営業外費用 15 百万円を計上したことにより、当初見込みより減少しました。

以上より、当社の 2025 年 12 月期連結業績予想は、前回発表の業績予想に比べ、売上高は減少し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ損失拡大する見込みとなったので、今回業績予想の修正を行うことといたしました。

以上